

授業づくり

よい授業を行う10のポイント

1 チャイムで始まり、チャイムで終わる。

○授業時間を保障する。教師が時間を守ってこそ時間を守る児童生徒が育つ。

2 児童生徒から視線を外さず、表情の変化を逃さない。

○児童生徒の行動や発言を見逃さない。目的をもった机間指導を行う。

○指名する場合は「さん」をつけて指名する。

3 授業の開始が勝負！

○導入で、本時の学習への期待感と見通しをもたせる。

○授業の「ねらい（課題）」を明確にする。

4 1時間の学びの過程が分かる板書計画を立てる。

○板書は適切な省略と焦点化をする。

○板書には児童生徒の意見を生かす。

5 児童生徒の「活動」する時間をきちんと保障する。

○教師の話聞く場面とノートに記入する場面を分ける。

○ノート記入や問題練習の時間を確保し、時間の保障する。

6 視覚的、効果的に内容を理解させる。

○ホワイトボードやプロジェクター、タブレット等を活用する。

7 明確な発問や説明、指示をする。

○ことばを精選し、しゃべりすぎない。

8 文章で、語尾まではっきりと発表させる。

○語形をしっかり習得させる。

○声の大きさの基準を示す。

9 意図的に指名発表させる。

○一部の児童生徒だけで授業を進めない。意図的な指名が必要である。

10 全員の思考を深める。

○多様な解決方法を示す。肯定的な表現で、具体的に話す。

